「産業科学フォーラム 2009」開催

名古屋産業科学研究所は、研究部の発足１周年を記念して、9 月 15 日（火）に（独）科学技術振興機構（ＪＳT）プラザ東海（名古屋市南区阿原町）において、**「産業科学フォーラム 2009」**を開催しました。本研究所は、昭和 18 年設立の名古屋航空研究所を前身とし戦後名称変更した、文部科学省、経済産業省の共同所管の産学官連携財団法人。

研究部は、東海地域の大学名誉教授を中心に企業、自治体ＯＢを含む 45 名の上席研究員を擁し、**「産業科学フォーラム」**を設置して、産業科学に関する非公開の月例ミニ講演会を開催してきました。

今回は、初めての公開講演会です。

フォーラムは、澤木研究部長の経緯説明、内藤進理事長（(株) リンナイ会長）の挨拶（写真）の後、**環境・健康と科学技術**をテーマに、服部・石田両上席研究員の司会で、

「磁気・水」　；　毛利上席研究員（名古屋大学名誉教授）

「有機太陽電池」　；　融（とおる）**上席研究員（名古屋工業大学名誉教授）**

「やきものの科学」；　藤澤コーディネータ；

「技術移転事例」　；　小澤コーディネータ

の講演があり、約５０名の参加者による熱心な質疑が行われ、最後に架谷専務理事の総括で閉会しました。

多数の理工学系大学名誉教授が企業ＯＢとともに、恒常的に産業科学の創出に組織的に取り組んでいる活動は全国的にも珍しく、また名誉教授とコーディネータが連携して講演を開催する形式も初であり、このため参加者は、学界、産業界等多彩でした。

挨拶する内藤理事長